

◎福祉援護センター職員アンケートの実施について

【福祉施設課】

1 アンケートの目的

福祉援護センターの適切かつ円滑な運営を図るとともに、より一層の利用者サービス品質の向上を図ることを目的として、福祉援護センターに勤務する職員を対象としたアンケート調査を行いました。

2 アンケートの概要

(1) 調査対象者

福祉援護センターに勤務する施設長を除く全職員（非常勤を含む） 52 名

(2) 設問内容

アンケートは自由意見欄を含む全 18 問で、必要に応じてヒアリングを行うことを想定して記名方式とし、自由意見欄を除いて「はい」「いいえ」「わからない」の 3 つの中から回答する選択肢方式としました。

設問の構成については、①仕事内容（業務量、質、やりがい）、②職場環境・人間関係、③業務負荷（残業、休暇、休憩時間）、④研修体制、⑤法令遵守、⑥勤続意欲、⑦自由意見欄としました。

(3) 調査期間

令和 4 年 5 月 6 日（金）～20 日（金）

(4) 回答者数（回答率）

47 名（90.4%）

(5) 調査結果

各設問では、「はい」と回答した人の割合が高いのは、「問 12 希望の日程や日数で休暇は適切に取れている」が 77%と最も高く、次いで、「問 5 仕事にやりがいや意義、価値を感じる」が 75%、「問 8 安心して相談できる仲間や上司がいる」と「問 17 今後も現在の職場で働きたい」が 70%という回答結果となりました。

一方、「いいえ」と回答した人の割合が高いのは、「問 6 仕事に専念できる職場環境が整っている」が 49%、「問 7 職場の人間関係やコミュニケーションは良好である」が 43%という回答結果となりました。

自由意見欄では、「職場環境・人間関係」に関する意見等が最も多く、業務遂行上の課題や問題点のほか、雇用形態や賃金、処遇などの様々な意見が寄せられました。

※詳細は、別冊「横須賀市立福祉援護センター職員アンケート集計結果」のとおり

3 今後の対応

福祉援護センターの指定管理者においては、職員の配置換えにより体制を整えるとともに、職員との面談等による信頼関係の醸成と構築など、自ら問題点の把握や業務改善に取り組んでいるところですが、本アンケートの集計結果をもとに職場環境・コミュニケーションの改善をはじめ、業務知識やスキル向上を目的とした職員研修や人事交流の実施などにより、職員の士気（モチベーション）の向上や意識改革を図りながら、職員が生きいきとやりがいを感じて働ける職場環境づくりに取り組んでいけるよう市として支援していきます。

引き続きヒアリング等を進め、福祉援護センターの指定管理者とさらなる情報共有や連携を図り、互いに協力し合いながら適切かつ円滑な施設運営に取り組むとともに、より一層の利用者サービスの向上を目指していきたいと考えています。